

市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

質問項目一覧 (通告順)

スマートフォンをお持ちの方は、氏名の下QRコードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

- | | | |
|---|--|---|
| <p>○ 石川 克正
① 中心市街地の活性化について
② 財政政策について</p> <p>○ 清水 健一
① 子ども子育て支援について
② 生活道路整備について
③ 水道事業の安定経営について</p> <p>○ 富田 勝
① 安全・安心に暮らせるまちについて</p> <p>○ 柴崎 重雄
① 交通安全対策について
② 婚活について</p> <p>○ 中矢 寿子
① 風疹について
② 公共施設へのエアコン設置について
③ 認知症について</p> <p>○ 角田 義徳
① 人口減少対策について
② 岡部地域の発展に向けて</p> | <p>○ 田口 英夫
① 交通安全対策について
② 組織改正について</p> <p>○ 村川 徳浩
① 深谷市防災行政無線同報系デジタル化整備工事の入札について
② 花園IC拠点整備プロジェクトについて</p> <p>○ 佐久間 奈々
① 花園IC拠点整備プロジェクトについて
② 深谷市立保育園民営化検討委員会について</p> <p>○ 五間 くみ子
① 予防接種行政について
② 使用料・手数料について
③ 介護保険制度について</p> | <p>○ 清水 修
① 武道場の新設について
② 生け垣設置に補助金の交付を
③ 多面的機能支払交付金の活用について
④ 財政調整基金の活用について</p> <p>○ 三田部 恒明
① 公共工事の品質確保の促進に関する法律改正について
② 都市公園について
③ がん対策について</p> <p>○ 鈴木 三男
① 国民健康保険について
② 体育館の空調設備について
③ 災害個人備蓄について
④ 就学援助制度について</p> <p>○ 田島 信吉
① 新川本公民館建設について
② 浸水想定区域への公共施設建設について
③ 河岸浸食想定図について</p> |
|---|--|---|

水道老朽管敷設替え工事ポリエチレン化の検証は

経済性では、設計額で約12%の削減ができた

Q 毎年約6億円を充て、行っている工事だが、今後の工事予定を伺う。
A 来年度も口径別の検証路線を増やし、配水用ポリエチレン管の導入を前向きに検討していく。

Q 市内19の小学校区に、花園を除き24の学童保育施設があるが、児童館を含め、モデル事業の考えは。
A 花園小学校隣接地に民間学童保育室があり、定員等のバランスを考慮し運営を圧迫しないよう、公立学童を整備せず、現在に至っている。

Q 公立学童は保育料が月6千円で私立は高い所で1年生が1万5千円利用時間も公立は夜7時まで、私立は6時40分と差があるが、どのように対応していくのか。
A 公立学童保育室の設置を含め、花園地区の学童保育室の在り方を検討していく。



水道管敷設替え

清水 健一
スマートフォンから
QRコード

Q 一道路整備要望への対応を問う。毎年、各自治会から生活道路の整備要望が提出され、毎年400カ所以上の未整備が発生しているが、制度を見直すべきではないか。
A 現在は要望内容を評価し、行っているが、よりよい制度となるよう時代の変化に配慮し研究していく。

Q 幼稚園の再編を、どうするのか。就園率が、年々下がっているが、幼児教育の質の向上をどう行つか。
A 教師の資質・能力の向上を研修等を通して行っていく。

中心市街地に100万人以上の集客を

事例研究をすることで協力していきたい

Q 活性化のアプローチとして、その街の本質を見極め、伸ばしていく取り組みが挙げられる。中心市街地にはその特性として、「市民の交流拠点」としての機能があると考え、思い切った取り組みをしてはどうか。
A 人口減少・少子高齢化が進んでいる中で、多くの方が暮らしやすい街にするため、集約型都市構造を目指す必要がある。新たな取り組みは考えていないが、市としては区画整理事業や新庁舎建設を進捗させ、コンパクトな街の形成を進める中で新たな交流が図れるものと考えている。

Q 歴史的建造物保存に向けた取り組みは。
A 個人所有の建物に関して市からのアプローチは難しい。他市で行われた保存の事例を研究してみたい。

Q 合併優遇終了後の財政舵取りは。現在でも「地方財政は年々厳しさを増している」とされているが、合併優遇が終了後の厳しさは、これ



がんばる商店街のみなさん

石川 克正
スマートフォンから
QRコード

A これまで合併優遇制度を活用することで、先を見据えた取り組みを行えた。税収確保、ふるさと納税等、多層的な財政運営に取り組みながら、今後も楽観視することなく、緊張感を持って財政運営に取り組んでいく。

青色防犯パトロール車を各公民館に配置できないか

一定規模の活動を行う場合は積極的に配置していく

Q 防犯活動団体の現状と支援はどのようにしているのか。
A 自主防犯活動団体の登録数は137団体である。防犯ベストや帽子などの防犯グッズを支給し支援している。

Q 市内に2つの防犯協会があり運営に差異があるがどのように考えるか。
A 深谷市防犯協会、寄居地区安全防犯協会への支援や協力は同様に行っている。今後も積極的にかかわっていく。

Q 深谷市登下校安全見守り連絡会の内容と今後について伺う。
A 教育委員会、警察、行政の3者を中核に、21名で組織し登下校の安全確保に必要な事項について協議を行う。

Q 武蔵野地区で活動している原宿子供見守り隊等からも青色防犯パトロール車があれば広範囲での活動ができるのだがその声があるが、各公民館に配置できないか。
A 活動が継続してできる規模であ



青色防犯パトロール車

富田 勝
スマートフォンから
QRコード

Q 川本支所や公民館がある地域は中学校・幼稚園等の公共施設が多くあるが荒川に面して水害が考えられる。国などの関係機関に堤防等の要請をすべきと思うが市の考えは。
A 荒川上流改修期成同盟会への働きかけや実現性を踏まえながら研究していく。